

| 科 目 | 保健・体育 (Health and Physical Education) | | | | |
|--|---|---|-------------|--|--|
| 担当教員 | 寺田 雅裕(前期S2) , 小森田 敏(前期M2A , 後期S2) , 春名 桂(前期C2 , 後期M2A , C2) | | | | |
| 対象学年等 | 機械工学科・2年A組・通年・必修・2単位 | | | | |
| 学習・教育目標 | 工学複合プログラム | - | JABEE基準1(1) | | |
| 授業の概要と方針 | 各種の運動を自主的に行わせることによって、積極的に運動を実施する習慣を育て、生涯体育につながる能力を養う。また、健全な社会生活を営む能力や態度を養い、健康、スポーツに関する基礎知識や体力の養成を目的としている。(前期種目:ソフトボール、バレーボール、水泳)(後期種目:サッカー、バドミントン、卓球) | | | | |
| 到達目標 | 達成度 | 到達目標毎の評価方法と基準 | | | |
| 1 ソフトボールの特性を理解し、打つ・守る・走る・投げる等の基本技能を習得する。また、ルールや審判法、スコアのつけ方等を学び、簡易ゲームができるようにする。 | | ソフトボールの特性の理解・ルール・審判法・ボールスキル・ゲームの進め方などを理解し、習得しているか評価する。 | | | |
| 2 バレーボールの特性を理解し、レシーブ・パス・スパイク・サービス等の基本技能を習得する。また、ルールや審判法、スコアのつけ方等を学び、簡易ゲームができるようにする。 | | バレーボールの特性の理解・ルール・審判法・ボールスキル・ゲームの進め方などを理解し、習得しているか評価する。 | | | |
| 3 水の特性や泳ぎのメカニズムを理解し、基本泳法を学ぶ。また、水中での自己防衛技術として、総合的な水泳能力の向上を図る。 | | 水の特性や泳ぎのメカニズム・泳法能力・自己防衛技術・救急法などを理解し、習得しているか評価する。 | | | |
| 4 サッカーの特性を理解し、シュート・ドリブル・パス・トラップなどのホールを扱った基本技能や、連係を活かした対人技能を修得する。また、ルールや審判法、スコアのつけ方等を学び、簡易ゲームができるようにする。 | | サッカーの特性の理解・ルール・審判法・ボールコントロール・ゲームの進め方などを理解し、習得しているか評価する。 | | | |
| 5 バドミントンの特性を理解し、基本動作であるラケット操作や、ストロークやサーブなどの基本技能を修得する。また、ルールや審判法、スコアのつけ方等を学び、簡易ゲームができるようにする。 | | バドミントンの特性の理解・ルール・審判法・ボールスキル・ゲームの進め方などを理解し、習得しているか評価する。 | | | |
| 6 卓球の特性及び、基本ストロークや球の回転を理解し、習得する。また、ルールや審判法、スコアのつけ方等を学び、シングルスやダブルスができるようにする。 | | 健康増進・傷害予防：技能習熟に関して、毎時間の習熟度を(関心・意欲・思考：技能・知識)を評価する。 | | | |
| 7 新体力テストを実施することにより、各自の体力を評価し、その結果を分析して、不足している能力の向上を図る。 | | | | | |
| 8 毎時間ストレッチやサーキットトレーニングを行うことにより、継続的な体力増進・傷害予防に関する知識と技能を修得する。また、各種目の練習方法を学び、段階的な技能習熟を図る。 | | | | | |
| 9 | | | | | |
| 10 | | | | | |
| 総合評価 | 前期は到達目標毎1のソフトボールを20%、到達目標毎2のバレーボールを20%、到達目標毎3の水泳を20%、到達目標毎6を40%の割合で評価する。後期は、到達目標毎4のサッカーを30%、到達目標毎5のバドミントンを30%、到達目標毎6を40%の割合で評価する。 | | | | |
| テキスト | MY SPORTS : 大修館書店 新版「保健体育概論」：近畿地区高等専門学校体育研究会編 晃洋書房 | | | | |
| 参考書 | | | | | |
| 関連科目 | | | | | |
| 履修上の注意事項 | 卓球及び新体力テストは、評価には含まない。 | | | | |

| 授業計画1（保健・体育） | | |
|--------------|---|--|
| 週 | テーマ | 内容(目標・準備など) |
| 1 | ソフトボール1 | 安全に留意し、正しい用具(バット・グローブ・ベース・ソフトボール・マスク)の使い方を覚える。キャッチボールを通して、様々なスローイング(ピッチングを含む)の方法を学ぶ。トスバッティングを通して、バットコントロール・ミート・捕球の方法を理解する。 |
| 2 | バレーボール1 | 安全に留意し、正しい用具(バレーボール・支柱の運び方・ネットの張り方)の使い方を覚える。対人バスを通して、様々なバス技能(オーバーハンド・アンダーハンド)の方法を学ぶ。また、ラリーが続くような簡易ゲームを学ぶ。 |
| 3 | ソフトボール2 | キャッチボール・トスバッティング・シートノックを通して、前回の学習内容を定着させる。また、簡易ゲームを通して、ルールや運営方法を学ぶ。 |
| 4 | バレーボール2 | 対人バスを通して、前回の学習内容を定着させる。また、スパイク練習やサーブ練習を通して、攻撃の方法を学ぶ。また、簡易ゲームを通して、ルールや運営方法を学ぶ。 |
| 5 | ソフトボール3 | キャッチボール・トスバッティング・シートノックを通して、前回の学習内容を定着させる。また、簡易ゲームを通して、ルールや運営方法を学ぶ。 |
| 6 | バレーボール3 | 対人バスやスパイク練習を通して、前回の学習内容を定着させる。また、簡易ゲームを通して、三段攻撃やルール、運営方法を学ぶ。 |
| 7 | ソフトボール4 | キャッチボール・トスバッティング・シートノックを通して、前回の学習内容を定着させる。また、正式ゲームを通して、ルールや運営方法を学ぶ。 |
| 8 | バレーボール4 | 対人バスやスパイク練習を通して、前回の学習内容を定着させる。また、ローテーションを取り入れた正式ゲーム(6人制)を通して、ルールや運営方法を学ぶ。 |
| 9 | ソフトボール5 | 正式ゲームを通して、ルールや運営方法を学ぶ。また、学習内容をスキルテストで評価する。 |
| 10 | バレーボール5 | 正式ゲームを通して、ルールや運営方法を学ぶ。また、学習内容をスキルテストで評価する。 |
| 11 | 水泳1 | 水の特性を理解し、浮き方・沈みなどを学ぶ。また、泳ぎのメカニズム(ストリームライン・ローリング・息継ぎ・ストローク)を学び、基本泳法にチャレンジし、個人の能力に応じて、泳力を高める。 |
| 12 | 水泳2 | 水の特性を理解し、浮き方・沈みなどを学ぶ。また、泳ぎのメカニズム(ストリームライン・ローリング・息継ぎ・ストローク)を学び、基本泳法にチャレンジし、個人の能力に応じて、泳力を高める。 |
| 13 | 水泳3 | 水に関する事故とその原因を知り、自己防衛方法を着衣水泳や浮き身を通して学ぶ。様々なリレー種目を行い、泳ぐことだけでなく、競い合う楽しみを味わう。 |
| 14 | 水泳4 | 学習内容をスキルテストで評価する。 |
| 15 | 水泳5 | 学習内容をスキルテストで評価する。 |
| 16 | サッカー1 | 安全に留意し、正しい用具(ボール・ゴールの持ち運び)の使い方を覚える。対人バスを通して、様々なバス技能(インサイド・アウトサイド・ヘディング)及びトラッピングの方法を学ぶ。 |
| 17 | バドミントン1 | 安全に留意し、正しい用具(シャトル・支柱の運び方・ネットの張り方・ラケット)の使い方を覚える。対人バスを通して、様々なバス技能(オーバーハンド・アンダーハンド)の方法を学ぶ。また、ラリーが続くような簡易ゲームを学ぶ。 |
| 18 | サッカー2 | 対人バスを通して、前回の学習内容を定着させる。また、簡易ゲームを通して、ルールや運営方法を学ぶ。 |
| 19 | 新体力テスト | 反復横跳び・20mシャトルラン・立ち幅跳び・上体起こし・長座体前屈・ハンドボール投げ・50m走を測定する。身長・体重・座高・体脂肪・握力を測定する。 |
| 20 | バドミントン2 | 対人ラリーを通して、前回の学習内容を定着させる。また、シングルスのリーグ戦を通して、ルールや運営方法を学ぶ。 |
| 21 | サッカー3 | 対人バスを通して、前回の学習内容を定着させる。また、簡易ゲームを通して、対人技能及びルールや運営方法を学ぶ。 |
| 22 | バドミントン3 | 対人ラリーを通して、前回の学習内容を定着させる。また、ダブルスのリーグ戦を通して、ルールや運営方法を学ぶ。 |
| 23 | サッカー4 | 対人練習や集団練習を通して、前回の学習内容を定着させる。また、正式コートを使ってのリーグ戦を通して、より高度な連係プレーを学ぶ。 |
| 24 | バドミントン4 | 対人ラリーを通して、前回の学習内容を定着させる。また、ダブルスのリーグ戦を通して、ルールや運営方法を学ぶ。 |
| 25 | サッカー5 | 対人練習や集団練習を通して、前回の学習内容を定着させる。また、正式コートを使ってのリーグ戦を通して、より高度な連係プレーを学ぶ。 |
| 26 | バドミントン5 | 対人ラリーを通して、前回の学習内容を定着させる。また、ダブルスのリーグ戦を通して、ルールや運営方法を学ぶ。 |
| 27 | サッカー6 | 正式ゲームを通して、ルールや運営方法を学ぶ。また、学習内容をスキルテストで評価する。 |
| 28 | バドミントン6 | 正式ゲームを通して、ルールや運営方法を学ぶ。また、学習内容をスキルテストで評価する。 |
| 29 | 卓球1 | 安全に留意し、正しい用具(卓球台の運び方・ネットの張り方・ラケット・ボール)の使い方を覚える。対人練習を通して、様々な基本ストロークを学ぶ。 |
| 30 | 卓球2 | 個人練習を通して、フォアハンド・バックハンドなどの個人技能を修得する。 |
| 備考 | 保健分野である1) 基本的生活習慣の確立、2) 体力の保持増進、3) 思春期と性について、授業の導入や雨天時の授業などを利用して行う。スキルテストについては、定期試験中には行わず、授業内で行う。 | |